

丹波市議会だより たんばりんぐ

令和5年

7

No.74

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は
年4回



たんばりんぐ

CONTENTS

P2 対話する議会

P4 市民との意見交換会

P8 こどもまんなか会議

P10 ココがギロンの論点

P11 議案の審議結果

P12 ココが聞きたい！一般質問

P17 傍聴にお越しく下さい

P18 政務活動費

Open!

丹波市議会では、皆様の声を市政に反映するため、市民の皆様との対話の場をできるだけ多く持とうと取り組んでいます。ぜひご理解とご協力をお願いします。

▼表紙写真参照

1 市民との意見交換会

今年度はテーマを決めて各種団体や幅広い層の方のご参加をいただき、実施しました。意見交換の結果は報告として取りまとめ、市長に伝えました。

▼4～6ページ

2 井戸端スタイルの意見交換会

5名以上でお集まりいただければ、こちらから指定の場所に出かける「井戸端スタイル」の意見交換会を新たに開始しました。申し込みを受け付けています。

▼7ページ

3 こどもまんなか会議

こどもの権利に関する理念条例調査研究特別委員会では、丹波市においてどのような条例が必要かを調査研究するにあたり、子育て世代の方々や当事者である子どもたちの意見を聞く場を複数回に分けて設けています。

▼8ページ

4 各種団体との懇談や参考人出席

専門分野についての調査研究を行う常任委員会において、その分野に関連する各種団体との懇談を行っています。また、請願等の審査にあたっては、できるだけ提出者に参考人として出席いただき、質疑を通して思いを聞いています。

▼9ページ



総務文教常任委員会
請願者出席の様子



民生産建常任委員会
陳情者出席の様子

5 高校生ミライプロジェクト

若い人たちに市政への関心を持っていただくため、市議会議員が助言し、3高校の高校生が合同で市政に関する意見を議論し、発表する事業を進めています。初回は福知山公立大学の学生の方々にも支援に入っていました。

▼詳細は次号

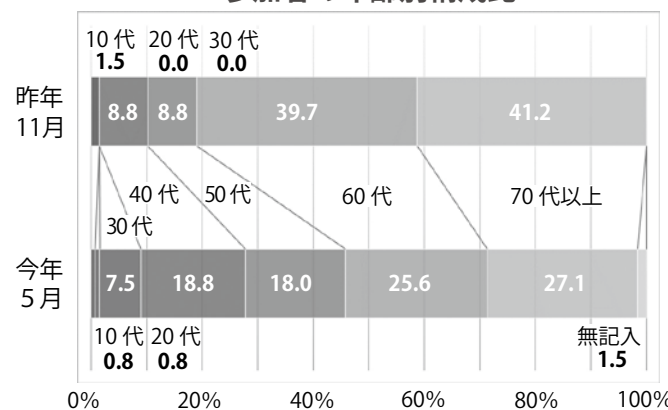
対話する議会

少しずつ、改革の成果も

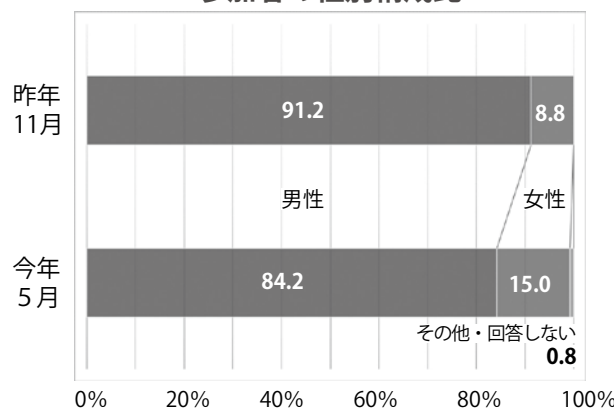
— 令和4年11月参加者と令和5年5月参加者の比較 —

市民との意見交換会への参加者について、昨年11月と今年5月を比較すると、課題となっていた50歳代以下の方や女性の比率が増えました。団体からお声がけいただくことで、初めての参加者が増えました。自由意見では、「初めて参加したが、参加して良かったと思った」といったご意見もいただきました。ご参加、ありがとうございました。

参加者の年齢別構成比



参加者の性別構成比



これまでの対話・これからの予定（令和5年1月～8月）

- ・2月 4日（土） こどもの自己肯定感を育む講演会
- ・2月 7日（火） 農業委員会との懇談会（民生産建常任委員会）
- ・3月 9日（木） 請願者による参考人出席（2件、民生産建常任委員会）
- ・5月 11日（木） 相談支援事業所との懇談会（民生産建常任委員会）
- ・5月 15日（月） 市民との意見交換会（氷上、柏原）
- ・5月 16日（火） 市民との意見交換会（山南、青垣）
- ・5月 17日（水） 市民との意見交換会（市島）
- ・5月 18日（木） 市民との意見交換会（春日）
- ・5月 21日（日） 市民との意見交換会（市民プラザ）
- ・5月 22日（月） 第1回こどもまんなか会議（午前の部、午後の部）
- ・6月 20日（火） 請願者による参考人出席（総務文教常任委員会）
- ・6月 21日（水） 陳情者による参考人出席（民生産建常任委員会）
- ・7月 27日（木） 3高校の生徒とのミライプロジェクト
- ～9月 オンラインツールを利用して高校生と対話を継続
- ・8月 1日（火） 第2回こどもまんなか会議
- ・8月 4日（金） 市民との意見交換会（井戸端スタイル）

議員の印象に残った意見

印象に残った意見

選んだ理由

市民との意見交換会では皆様からたくさんの声を伺うことができました。今回は議員の印象に残った意見とその意見を選んだ理由についてご紹介します。

学校統廃合 高齢者は反対、若者は賛成。地域内で十分話し合いが行われていない。

子どもの数だけで判断するのではなく、地域として学校が無くなることをどう考えるか。集落単位でも話し合うべきである。

自主防災計画を地区で策定。地元消防団との連携も図る。

全自治会が計画を策定し、その中に地元消防団との連携、要支援者の避難支援体制等を記載し、普段からその内容を周知・訓練することが必要。

アフタースクールに従来の「お遊びコース」の他に「お勉強コース」を設け、プラスしてお金を払うから家庭教師をつけてほしい。

習い事に連れて行く時間すらない家庭もあり合理的な意見。市はお金や物品を配るだけでなく、子育てしやすい環境を整えることにも注力を。

災害情報（警察・消防・地域・市）の共有により迅速な災害把握と的確な指示。迂回道路の情報をスマホで検索できるリアル情報の提供を。

災害時での的確な誘導と生きるための行動支援の為「情報共有と提供」は重要です。近代技術を利用した正しい情報提供の仕方を要望します。

丹波市には、防災士が少ない（現在41名）。市議会議員で防災士協会への登録は1名のみである。

防災士の人材育成に取り組む地域もある。議会でも防災・減災への発言は多い。今後、防災リーダーを受講できればと思う。

市有土地・建物・住宅・廃校などを移住者に対して条件を整備し、無償譲渡などの施策を出来ないか、固定資産税など税収が増える。

将来を思うと維持管理に莫大な予算が必要になる。移住者に限らず無償譲渡で処分することで、自主財源の一番安定した固定資産税が見込める。

災害等の非常事態に備えた地域づくりの必要性を感じる。行政や地域の関係機関が連携できる体制整備を。

感染症という災害を経験し、地域力の向上という課題が見えてきた。行政を含めた関係機関の横断的連携の体制づくりと司令塔の明確化は必要。

コロナ禍の影響で助けあい・支えあいが必要な付き合いが薄れてきた。回復をどうするか、地域任せにせず支援の充実を考えてほしい。

自治会の世帯数が減る中で支えあいをどのように維持するか、大きな課題だと思います。さっそく議会で取り上げ、対応の必要性を指摘しました。

守秘義務を十分心得ており厚生労働大臣から委嘱されている民生委員であるのに、個人情報取得しづらく、大変苦勞しています。

民生委員は、地域の頼れる人であり、地域の福祉を見守っていただいている。円滑に活動できるよう個人情報取得についての改善が求められる。

市の政策がわからない。どこに力を入れているのか。

各会場で多く出ていたのが、農林業振興（農振除外を含む土地の有効活用等）、観光戦略、人口減少対策など各分野でまずこの意見でした。

丹波ブランドは外から選んでもらい繋がっていくもの、丹波の中で選ばれるもので人の信用もブランドになるのでは。

「おかえり」を合言葉に丹波三宝を利用した「食べるコト」をブランド化。自然とおもてなしでリラックスしに来ちゃったら。

丹波市独自の観光戦略がなく、その大部分を観光協会に任せているようにある。市としても、しっかりした“観光戦略”をつくるべき。

市「ユニティプラン」に「（観光）協会内に、観光戦略室を設置し、専門人材の登用により」とされ、観光協会に任せている印象が強い。

旧柏原支所について、地元自治協議会などで検討した「提案」はどうするのか。行政財産に戻して管理するのが良いのではないか。

ホテル化が頓挫した後、地元へ利活用を投げかけたものの市としての考え方が示されていない。このままでは観光及び文化財的価値がなくなる。

今後、益々団員の確保が難しくなる中、消防地区主任の繊細な業務を各支団でおこなうことは、消防団の活動の継続を難しくします。

各支所の消防地区主任の業務の集約化は、団員のみならず地域自治会からも各地域における消防活動、防災活動の弊害を懸念する旨の声を聞く。

意見交換会を終えて・・・

地区主任の集約化により初動活動の遅れ及び団員の負担増加等が予測されるため、不安であり反対である。

消防団活動体制のあり方について私も感心を持っており、今後、現場の意見に耳を傾け研究してまいります。

高齢社会の課題として、健康でいなければいけないと思う。100歳体操は、楽しみの共有や繋がりができ、健康チェックもできる。

住み慣れた地域で長く暮らしていける幸せのために、住民一人ひとりが楽しく、いきいきと繋がっていきこうという優しい思いが伝わった。

統廃合に関して子どもの「数」だけで判断するのではなく、地域の大人や子どもたちと今後どうしていくのか対話を繰り返すことが大切。

学校統廃合の視点として、地域をどうするのかという視点が弱い。子どもの数を増やすような取組を地域や市が取り組むべきである。

市の政策が分からない。どこに力を入れているのか。小さなことにばかり満遍なく予算が使われているので大きなこともできていない。

大きなビジョンが見えないまま細かな市政事業が進んでいる事の不安を市民との意見交換で共感できるところもあり、一般質問につなげました。

市観光行政の戦略・方向性が全く見えてこない。市としてのブランドをどのように考えているのか。

地域引力を生み出す発想の転換と丹波「らしさ」の強い地域ブランド作りを思考し、戦略的に展開することで地域活性化を図る必要がある。

議員が伺います！あなたのもとへ！

日頃、暮らしの中で
気になっていることを
話してみませんか？

井戸端スタイル
出張版

市民との 意見交換会

5名以上で
お集まりいただければ、
議員がお伺いします。

あなたの声を
聴かせてください。

対象者

市内居住者または在勤在学の方、ふるさと住民登録をされている方。
団体の場合は市内に本拠地がある団体。

申込み方法

各支所・住民センターに設置している参加申込書に①～⑦の必要事項をご記入のうえ、
丹波市議会事務局へご提出ください。

(郵送・FAX・メール・事務局窓口へ持参のいずれかでお申込みください)

- ① 代表者名
- ② 代表者住所・電話番号・メールアドレス
- ③ 団体名称（あれば）
- ④ 意見交換したい主な関心分野（テーマ）
- ⑤ 開催希望日時（90分以内。3月・6月・9月・12月の定例会以外の日程をご希望ください。）
※ 第2希望まで記載してください。
- ⑥ 開催希望場所
市内の公共施設等とします。会場費が発生する場合は申込者の負担となります。
- ⑦ 出席予定人数（5名以上）

申込期限

希望日の3か月前の月末（例：11月の開催希望の場合、8月31日まで）

注意事項

- ・意見交換会の進行は原則、申込者でお願いします。希望があれば議員が対応します。
- ・市政全般について意見交換し、政策立案に繋げることを目的としています。
要望活動のみを目的とするもの、営利活動や宗教活動に類したもの等は受け付けません。
- ・出席議員の指名はできませんのでご了承ください。
- ・主催者の広報活動、記録のために録音、撮影をさせていただきます。また、広報紙に
写真を掲載させていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。



意見交換会

意見交換会から見えてきた 「with コロナの市政課題」

市民との意見交換会を通して、コロナ禍を経ていま、丹波市として
取り組むべき課題が見えてきました。議論いただいた4分野に分けて、
議会内で整理し、皆様からの意見一覧と共に市長に提出しました。



全文はこちら

1. 防災・地域連携

- (1) 災害情報の共有と迅速・的確な情報伝達
道路や河川等の災害情報が滞りなく共有されるように。
- (2) 行政・消防団・自治会及び各種団体の連携
地区防災計画を策定し、実践型の訓練を行う必要がある。
- (3) 避難援助組織・防災資材等の充実と人材の確保
地域と消防団員・防災士等、避難所運営組織のあり方を整理。

感染症対策と防災の
両立への課題が浮き
彫りに。

2. 教育・子育て

- (1) 地域における子どもの交流促進
地域行事への子どもの参加の促進。
- (2) 学校やこども園における対策
マスクを外すことへの心理的影響があることに配慮が必要。
- (3) 保護者の負担軽減
土日休みの行政サービスが多く、土日勤務の保護者には
利用しづらい。



子どもに対する過保護・
過干渉を心配する声
が目立ちました。

3. 観光・産業振興

- (1) 観光行政の戦略・方向性
分野横断的に策定する戦略は市行政が担うべきである。
- (2) 農業政策とまちづくりビジョンの一体性
農業政策とまちづくりビジョンの統合が必要。

市の施策に対する
ビジョン・戦略を
求める声が多く
ありました。

4. 健康福祉

- (1) 民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくり
民生委員・児童委員の活動への理解が求められている。
- (2) 支えあい推進会議の充実
自治会役員と福祉人材の横断的連携の構築が必要である。
- (3) 高齢者の社会参加の促進
百歳体操等、健康活動が継続できるよう工夫を。



コロナ禍が地域交流の
場を奪い、支援を求める
人が増えた様子。

次の項目に関連するご意見については、所管の委員会で調査研究を進めます。

- デマンドタクシーなど公共交通のあり方について（総務文教常任委員会）
- おでかけサポートなど福祉の外出支援について（民生産建常任委員会）

尼崎市 視察報告「こどもの権利に関する理念条例調査研究特別委員会」

1 理念条例を形骸化させない取組 2 条例および施策の方向性と条例制定の主体

当委員会では、令和5年5月23日（火）に尼崎市の条例および施策を視察しました。その中で条例を形骸化させないための3つの取組が確認できました。

- ① 理念（子どもの権利）を実感できる「場」があること
ユースカウンスル事業、ユース交流センター、児童生徒自ら行う校則の見直し
- ② 必要に応じて組織を再編すること
こども政策監、子どものための権利擁護委員会
- ③ 基金など必要な事業費を予算化すること
子ども・若者応援基金を活用した補助金



ユースカウンスル事業の説明を受ける議員

尼崎市のこれまでの取組は「育つ権利」「参加する権利」を具現化してきたようで、人材育成の側面が強調されているように感じられます。

兵庫県下で「子育て支援」といえば明石市が有名ですが、「人材育成」という観点で捉えれば、尼崎市の方がリードしているのではないのでしょうか。

丹波市において子どもの権利に関する理念条例を制定するに当たっても、本市における課題を明確にしたうえで、条例の方向性を明確にしていく重要性を感じました。

また、丹波市においては、現在、特別委員会を設置し、議会が中心に調査研究をしていますが、理念に留まることなく子ども施策を前進させるためには、行政が主体的に取り組む必要があることを今回の視察で感じることができました。

みなさんの声を届けました

陳情者、請願者に参加人として各委員会にご出席いただき、願意をお伺いしました。審査の結果、国に対して意見書を提出しました。



意見書全文



森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

森林環境譲与税は、森林の整備や保全等に必要で地方財源を安定的に確保する観点から創設されている。しかし、総額の50%を私有林人工林面積、30%を人口、20%を林業就業者数に応じて割り振るという現在の配分基準では、森林面積が少ないにもかかわらず、人口が多い大都市においては、譲与額の多くが使われず基金に積み立てられている。

一方、山間部の市町において、適切に森林整備や保全等を進めていくためには安定的な財源が必要な状況である。

よって広い森林を抱える地方公共団体への配分に重点化する方向で、譲与基準の見直しを実施するように強く要望する。

陳情者：丹波市森林組合
丹波ひかみ森林組合

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書

2021年の法改正により、小学校の学級編制は段階的に35人に引き下げられます。今後は、中学校での早期実施も必要であり、きめ細かい教育活動を行うためには、さらなる少人数学級の実現が必要です。

また、学校現場では、貧困・いじめ・不登校など課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するために加配教員の増員など教職員定数改善が不可欠です。

国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げるとともに、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう強く要請します。

請願者：兵教組氷上教職員組合

第1回「こどもまんなか会議」を開催しました

4つの子どもの権利について議論

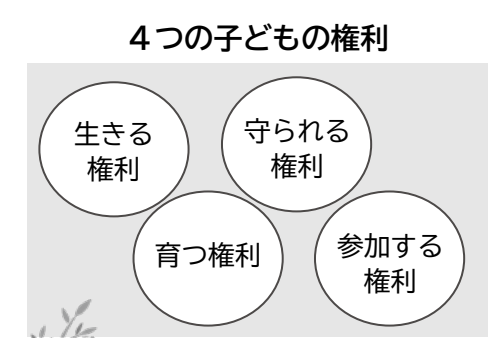
こどもの権利に関する理念条例調査研究特別委員会では、令和5年5月22日（月）、第1回こどもまんなか会議を開催し、子育て中のお母さん、若者支援の福祉活動をしている職員、元教員等にご参加いただき、4つの子どもの権利について議論しました。

「子どもが言いたいことをハッキリ言える社会にすべきだ」「校則の内容は子どもの意見を聞いて改正していくことが必要だ」

などと、「参加する権利」の重要性も議論されました。

「とはいえ、その他の3つの権利が満たされてこそ、『参加する権利』を行使できるのではないかな」

と、4つの権利の全てを守る必要性も議論されました。



丹波市に合った条例を

また、権利の内容とは別に、「国連で子どもの権利条約が定められているから条例を制定するのではなく、丹波市の実態を掴んだうえで丹波市に合った条例を作るべきだ」

という指摘もありました。

当委員会は、丹波市の子どもたちの自己肯定感を高める方法について議論を重ねています。

今後も丹波市の子どもたちが自分らしく生きていけるような条例を研究してまいります。



こどもまんなか会議の様子

第2回「こどもまんなか会議」を開催します！

先着20名

とき 8月1日（火）10:00～12:00

ところ 丹波市立看護専門学校体育館

申込方法

①～⑤の事項を令和5年7月24日（月）午後5時までにメール（gikai@city.tamba.lg.jp）またはFAX（82-1523）でお申込みください。

- ① 氏名 ② 住所 ③ 年齢 ④ 連絡先電話番号
- ⑤ 広報紙への写真掲載の承諾・不承諾
- ※ 小・中学生の方は保護者の方の同意をお願いします。

「自分が大切にされていると感じるとき」をテーマにみんなで話し合おう！

対象者

市内在住の小学生、中学生、高校生、専門学校生、短大生、大学生等の若者

詳しくはこちら ▶



全員賛成で可決した議案

4月臨時会

議案	
改正条例	○ 国民健康保険税条例
予算補正	○ 一般会計（第1号）
承認	○ 税条例の一部を改正する条例の制定に係る専決処分の承認

6月定例会

議案	
人事	○ 丹波市教育委員会委員の任命 吉竹 主税 氏
予算補正	○ 一般会計（第2号） ○ 一般会計（第3号）
制定条例	○ こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
条例改正	○ 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例
	○ 税条例
	○ 印鑑条例
	○ 公衆便所条例
	○ 火災予防条例
契約締結	○ 消防団ポンプ自動車（水槽付）購入
	○ 消防団ポンプ自動車（3.5 t 未満）購入
	○ スクールバス購入



議案の
審議結果

議案	
認定	○ 市道路線の認定（田路第24号線） ○ 市道路線の変更及び認定（五ヶ野南北線、五ヶ野6号線）
請願	○ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げをはかるための2024年度政府予算に係る意見書採択の請願
発議	○ 市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定 ○ 市議会会議規則の一部を改正する規則の制定
意見書	○ 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書
	○ 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに係る意見書



◀ 審議結果はこちら



◀ 意見書はこちら

年度初めから事業中止・大幅変更
予算編成事務は適切だったか？

当初予算で計画していたが、6月定例会に提出された補正予算で中止あるいは大幅変更となった事業がありました。「松くい虫特別防除事業」の中止と「子ども・子育て支援事業計画」策定から「こども計画」策定への変更です。予算編成段階での国や県との調整が十分であったか、質疑が集中しました。



問 松くい虫防除の実施は、令和4年度から兵庫県下でも丹波市だけとなっていた。県が中止の方向であるのは分かっていたはずで当初予算までに調整できなかったのか。

答 令和4年12月に兵庫県と協議し、事業を取りやめる方針を決定しました。その後、自治会等で説明会を行い、理解を得た上で、この時期の変更提案となったものです。

問 こども基本法の施行で「こども計画」の策定が求められることは分かっていたはず。どういう経緯だったのか。

答 当初は「子ども・子育て支援事業計画」の中でこども基本法に定められた内容も含む予定でした。しかし、具体的に計画策定を進めるべく細部を調整する中で、逆に「こども計画」の中に「子ども・子育て支援事業計画」を含める方が良いと分かり、今回の変更となりました。

プレミアムたんばコイン発行支援事業
生活者支援なら平等性が欠かせない

プレミアム付きでたんばコインを発行する事業は、これまでは市内事業者の売上を促進する「事業者支援」の位置づけでしたが、今回は消費を下支えする「生活者支援」の位置づけに変わり、購入対象者は市民に限られることになりました。



問 生活者支援であれば、本当に支援を必要とする人まで平等に利用できる制度でなくてはならない。電子決済の仕組みだけではなく商品券も必要ではないか。

答 商品券はありませんが、カードタイプもあり、そちらであればスマホに慣れない方も利用できます。また、販売窓口での購入支援なども行っており、どなたでも利用できるよう十分配慮します。

問 たんばコインは使える店が少ない。生活者支援のためには多くの店で使える必要があるのではないか。

答 利用可能店舗を増やしていけるよう、今後も努めてまいります。

■ 一般質問

問 通学する学校を選べない。平成9年に文部省から通学区域について拡大の重要性選択の弾力的運用の通達があったが、これまで運用されていない。今後どう取り組むのか。

答 通学指定の学校より近い距離に学校がある地域が小学校で8、中学校で14の自治会が該当しています。クラス編成など学校運営に支障がないように区域外就学の申請期間など検討し「丹波市学校教育区域外就学の承諾に関する要綱」に地理的な理由による場合を加え令和6年度から実施したいと考えています。

問 防犯カメラ設置補助金 自治会への防犯カメラ設置補助金1基20万円の本年度予算が終了し要望があっても次年度と聞く。事件の予防、解決に非常に効果があり、補正予算を組み要望に込めるべきだ。また市立公園には設置すべきだ。

答 機器の価格も安価になり、次年度から1箇所当たり10万円に変更しますが、本年度の要望については検討します。

また、公園については立地条件や利用状況、防犯や安全確認の必要性を勘案しながら判断します。



学校選択機会拡大にどう取り組まれるのか

区域外就学の申請期間などを検討し来年度から実施を考えています。



今回は
13人の一般質問が行われました！



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。
〔検索ワード〕丹波市議会インターネット中継

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる重要な機会です。私たちの生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は 60 分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。

問 過疎地域（山南）の要望を活かす事業を考えたのか。

答 県立大と人と自然の博物館の連携により、化工工房の施設利用や発掘現場の観察など上久下地区の協力による現地実習を実施しております。

問 県立大や上久下地区との恐竜連携は。

答 化石工房拡充事業や水分けフィールドミュージアムを通じて情報発信や郷土への誇りを育む生涯学習と体験を通じ地域の魅力を発信してまいります。

問 恐竜など唯一無二の地域資源を活かしたまちづくりを今後どう進めるか。

答 化石工房拡充事業や水分けフィールドミュージアムを通じて情報発信や郷土への誇りを育む生涯学習と体験を通じ地域の魅力を発信してまいります。

恐竜化石や水分けなど地域ブランドの推進を



問 化石工房拡充事業、丹波竜の里公園整備事業以外は現在予定しておりません。

答 地学（恐竜・水分け）など研究する専門的施設の推進を

問 丹波竜発掘調査が第6次（平成23年）で中断しているが今後の取組は。

答 人と自然の博物館や地域との連携を図ります。

問 地質学の学術研究や人材育成に関する学部やキャンパス設置の検討は。

答 キャンパス設置のようなビジョンは、今のところ持ち合わせておりません。



地域の一部分の人間関係をも壊した市長の責任は

私の今回の指示は間違っており、責任はないと考えております。



問 市長のトップダウンの指示の結果、有機の畑を復帰させるために職員がラウンドアップを撒いた。利用権設定者は本音では撒きたくないと言っているのに、威圧的に詰め寄られ萎縮して合意せざるを得なかったと聞いている。おかげで地域を挙げて有機を推進しようとした地域の人間関係までもが無茶苦茶になってしまった。市長はその責任をどう感じているか。

答 今回の件は報告を受けており、マルチを取って田に戻すように指示しました。ラウンドアップというのは前川議員から初めて聞きました。私は適切

問 丹波市の最高責任者は林市長だけ

答 はい、そのように思っております。

問 オীগアニックビルディング宣言をしたんだから、本来であれば除草剤を撒こうという提案があった時に、行政が止めるべきだ。市長にビジョンが無いからこんな事態に陥っている。

答 前川議員と私の思いは違っており、私の指示は間違っていないかと思っております。

問 令和4年度から「自治公民館子育て支援機能整備事業補助金」は大変良い事業だと思ふ。このように自治公民館の新たな活用の取組に対する補助・支援の考えは。

答 今後、市民活動支援センターが中心となって、自治協議会に重点支援に入り、事業の棚卸しなどの地域内協議を進めていきます。その協議の過程で自治会や自治公民館のあり方に関する課題や意見が出てくると思われ、補助・支援制度については、その動向を見ながら検討したいと考えています。

問 令和4年度から「自治公民館子育て支援機能整備事業補助金」は大変良い事業だと思ふ。このように自治公民館の新たな活用の取組に対する補助・支援の考えは。

問 丹波市発足時やグリーンセンター建設時に比べ市民の生活様式や社会の状況等が変化していますので、ごみ処理経費の22%の負担割合という考え方に固執することなく、ごみ袋料金の見直しについて検討しているところですか。



自治公民館をさらに活用していく考えは

地域づくりのためさらなる活用が求められる施設と認識しています。



マイナ保険証

☆これはイラストです

トラブル続出のマイナ保険証・マイナカード

問 マイナ保険証・マイナバーカードについて、他人に紐付けなどのトラブルが続出している。従来の保険証を廃止しないでの世論が高まっているが。

答 マイナ保険証については国において推進しているところであり、トラブルについては報道がなされていますが、その動向を見守っていきます。

加齢性難聴者の補聴器購入助成を

問 加齢性難聴者の補聴器購入助成がでないか。

答 補聴器の購入助成だけでなく、他の介護予防施策等の効果を見据えながら検討していきます。

急傾斜地の点検を

問 山の急傾斜地で木の伐採が行われているが、土砂崩れが起きないか点検すべきでないか。

答 木の伐採については伐採計画書を出してもらっています。土砂崩れについては災害の未然防止に努めています。



トラブル続出のマイナ保険証は大丈夫か





総合計画と各種計画の 整合性は

各種計画と総合計画との整合性は十分に与えられたものとなっています。



問 昨年の都市計画マスタープランと今後の総合計画のあり方は。

答 現在策定中の第3次丹波市総合計画をはじめ、都市計画区域の整備、開発保全方針の改定等により、必要に応じて見直しを行います。

問 過疎対策の基盤インフラと新整備は。

答 国の交付金や地方債、一般財源を基に事業を進めます。まずは、丹波市過疎地域持続的発展計画に記載の路線について順次整備していくことから、新しいインフラ整備は考えていません。

問 林業の振興計画は。

答 丹波市森林づくりビジョンを林業施策の目標とし、丹波市産材を活用した林業の活性化を進めます。

問 農地の有効活用については。

答 農業振興に向け、農業の生産基盤である優良農地を保全することが必要です。一方、農地として再生困難地や集落内に散在する農地については、5年ごとに行う総合見直し時に農業以外の土地利用が可能となるよう調整する方向で検討しております。



誰もが投票しやすい環境整備を

障がい者等を手助けする支援カードの導入に向けて検討します。



問 投票所で障がい者や高齢者等が代理投票などの支援を意思表示できる「投票支援カード」の導入や、イラストや文字を指さして困っていることを伝えるコミュニケーションボードの配備ができませんか。

答 誰もが投票しやすい環境づくりを進めるうえで有効と考え、支援カードの導入に向けて検討します。

問 コミュニケーションボードについては、配備場所等、研究・検討します。

問 福祉梅林を障がい者の地域参加の場に
三ツ塚史跡公園の福祉梅林の趣旨を



記念の福祉梅林「碑」

問 特定健診や人間ドックの受診者をどのようにして増加させ、健康たんば21計画にある健康寿命日本一を目指す取組をしているのか。

答 令和4年度からは、特定健診の受診者にたんばコインを付与する健康ポイント事業を開始し、受診率回復に向けた取組を実施しました。さらに今後は、コロナ禍において見合わせておりました健康セミナーや出前健康教室、食育教室などの健康推進に向けた取組を積極的に進めてまいります。

問 遊休資産の活用促進を！

答 ホームページで公開している市内の遊休資産の調査希望の申し出の状況および事務手続きの現状はどのようなになっているのか。

答 物件に対して関心を示していただける方の存在を把握し、売却または貸し付けることを目的としてホームページで公開しています。

答 現在、いくつかの物件で申し出を受けている状況で、準備が整ったものから境界測量や不動産鑑定評価などの調査業務を進める予定としております。



目指せ 健康寿命日本一！

着実に健診受診率を向上させ、健康寿命日本一を目指していきます。



問 ホームページで公開している市内の遊休資産の調査希望の申し出の状況および事務手続きの現状はどのようなになっているのか。

答 物件に対して関心を示していただける方の存在を把握し、売却または貸し付けることを目的としてホームページで公開しています。

答 現在、いくつかの物件で申し出を受けている状況で、準備が整ったものから境界測量や不動産鑑定評価などの調査業務を進める予定としております。



ごみ袋料金2段階方式で ごみ減量化を！

市民が今できる減量化に取り組んでいただきたいと考えております。



問 燃やすごみ袋料金を、現在目標とする1人1日あたり4129を年間計算し、そのごみ量までは袋代を40円とする。そして、それ以上のごみ袋は80円とする2段階方式を導入してはどうか。

答 この方式は一定量を超えた排出者に対しては高額の料金を設定することで、多量排出者を抑制する効果が期待できます。しかしながら、丹波市ではごみの減量をごみ袋の料金体系に頼るのではなく、市民一人ひとりが今できる減量に取り組んでいただきたいと思います。

問 丹波市を美しく

答 「ごみを拾ってポイントを貯めよう」など、楽しむ要素を持つて、市民がごみ拾いに取り組めないか。

問 ごみ問題に関心を

答 持つてもらうことは非常に大切なことです。議員ご指摘のごみ拾いについてのポイントの付与につきましては、事業の目的を達成するための一つの手段として、どのようにすることが効果的であるのか研究してまいります。



地域医療を支える開業医確保の取組を

全国的な医師不足のなかで、単独で招聘することは困難



問 地域医療を支えてこられた開業医が相次いで閉院されているが、市内の現状はどうか。

答 医師がいない地区の現状は、青垣3、春日1、山南2、市島2地区の8地区です。

問 高齢化の中で、校区に1つの医院が必要ではないか。医師確保の対応、対策はどうか。

答 全国的に医師が不足している中、市が単独で特定の地域に開業医を招聘することは困難です。関係地区と県や医師会、関係機関などと連携を図り、進める課題と認識しております。

問 学校給食パンを輸入小麦から国産小麦に

答 輸入小麦で作られた学校給食パンから発がん性の疑いがあるグリホサートが検出されているが対応は。

問 パンの納入業者が委託する食品衛生法に定める登録検査機関より残留農薬は不検出であることを確認しています。

問 兵庫県でも県産が国産に転換を求め

答 輸入小麦ではあるが、安全・安定供給・経済性が担保されていることから国産・県産小麦へ転換を求める予定はありません。



人口減少下における地域への支援は十分か

自治会単位の支援策は今後の検討課題です。



問 昨年の社会増の背景にコロナ禍で減っていた外国籍の方の転入が過去最多の461人と前年比約3倍に増えたことがあ

問 身近な自治会。防災と福祉の連携が困難など、行政の縦割りが弊害ではないか。

答 外国人労働者の増加は、企業が元気な証拠と考えています。多文化共生社会を実現できるように取組を進めていきます。

問 一方で昨年の死亡者数は前年より2割も増えている。どうとらえているか。

答 コロナ禍での外出自粛の影響はあると考えており、今後、いきいき百歳体操等の

丹波市の明日がみえてくる

傍聴にお越しく下さい

1 市役所3階で**受付**をして資料を受け取る



事務局窓口でお声かけください。

2 **傍聴者入口**から入る



傍聴者入口の立札が目印（車いす用のリフトもあります）

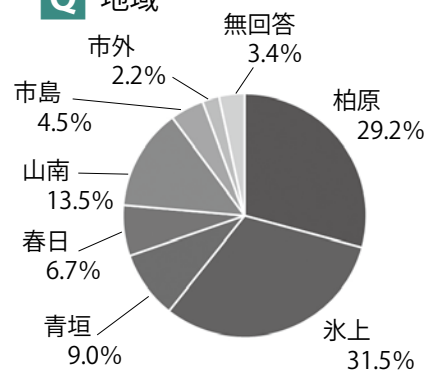
3 **傍聴席**に座り傍聴する



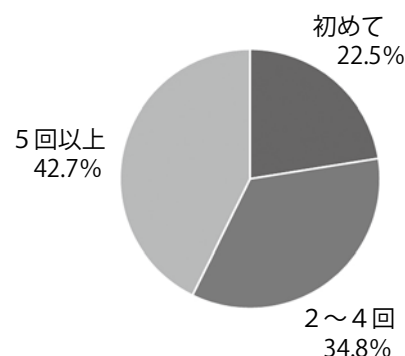
少し高くなった傍聴席からは、議場全体が見渡せます。

傍聴者アンケートの結果（令和4年1月～令和4年12月分）回答数 89 件

Q 地域



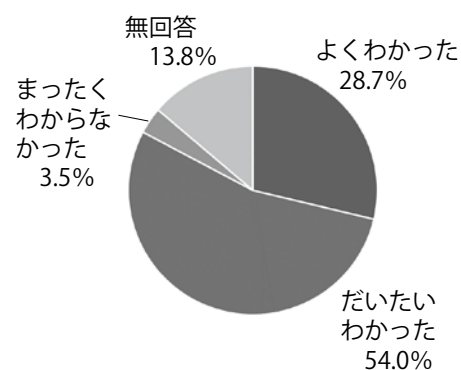
Q 傍聴の回数



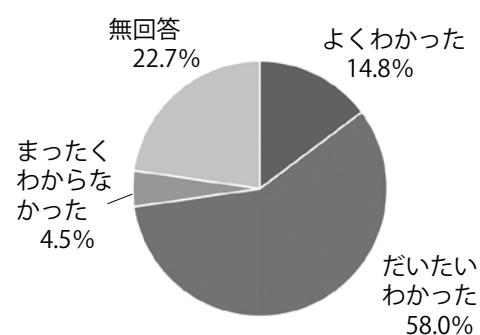
Q 傍聴のきっかけ

- 今日の議案や質問内容に関心がある。（57 件）
- 議会や市政に関心がある。（51 件）
- 議員や市長の様子が見たかった。（23 件）

Q 議員の発言内容



Q 市長や市職員の発言内容



傍聴者の声（一部掲載）

- 議員の質問内容がなまぬるい。もっと勉強して質問した方が良いと思う。
- 協議論点が定まっていない。議論がかみ合わない。
- 活発な討論があり、大変参考になりました。

広報広聴委員長からひとこと

「傍聴して気づいた事柄」では、議員に対しての厳しいご意見がありました。真摯に受けとめ、議員の資質向上に努めるよう情報を共有いたします。

※ 答えは ②

■ 一般質問



消防地区主任業務集約後における連携体制は
火災等における消防団活動との連携は、今後も協議を重ねます。



問 消防地区主任の業務集約の意図は。

答 組織統合や機能集約の一環として令和6年4月に地区主任業務を集約します。

問 消防団事務業務の今後は。

答 集約後は、消防団の自主性を促し、職員の役割・事務の簡略化を図り、消防団の事務局として活動の支援にあたります。

問 火災時における指揮系統と連携は。

答 従来通り消防団幹部が行い、消防署や地元自治会等の連携においても消防団主導で行います。

問 火災以外の災害時の連携体制は。

答 水害時等には、支団活動の拠点となる支所に災害対策にあたる市職員を配置し、消防団との連絡調整は従来通り対応します。

問 指定ごみ袋の在り方

問 プラスチック系指定ごみ袋の廃止に向けた考え方について

答 令和6年度から製品プラスチックも一体的に回収するため、排出状況等を確認しながら、市販の袋で排出可能か検討したいと考えております。

問 地域包括ケアシステムの位置付けをどのように捉えているのか。

答 地域共生社会は、将来の「目指すべき地域の姿」であり、地域包括ケアシステムは地域共生社会を実現するための「体制」「仕組み」の一つと位置付けています。今後は、「支えあい推進会議」の設置や各地域における支えあい活動が進むにつれて「互助」の意識が市民にひろがり、地域共生社会についての意識も醸成されていくと考えています。



「地域共生社会の実現」を、どう捉えるか
地域共生社会とは、将来の「目指すべき地域の姿」と位置付けます。



問 アピアランスケアについて

答 アピアランスケアとは、主にがんの治療による外見の変化を補完し、外見の変化に起因する苦痛を軽減するケアとされています。このケアによって、どの年代の方にも心理的な負担が軽減され、療養生活の質の維持向上につながっていると考えています。特に子どもたちにとっては、学校や社会の中で自分らしく元気に生活していくために大変重要と認識しています。

本会議や委員会の視聴はパソコン・スマホが便利♪



動画配信

市議会では、本会議や委員会の様子をインターネットで動画配信しています。録画映像も公開しておりますので、見逃した方もパソコン・スマートフォンでご覧になれます。（録画映像は会議終了後、1週間程度で公開）

視聴後は、傍聴者アンケートにご協力ください



アンケートはこちらから

知ってる!?

ギカイクイズ

高校生のアイデアでスタートした「知ってる!?ギカイクイズ」今回で12回目です。議員や市議会のことを知る良い機会ですので、ぜひ皆さんで考えてみてください♪

【問題】

たんばしきかいぎいん へいきんねんれい なんさい
丹波市議会議員の平均年齢は何歳で

しょうか? (令和5年4月1日現在)

- ① 54歳
② 64歳
③ 74歳

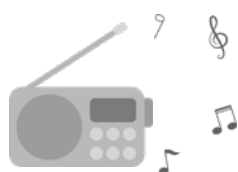


※ 答えは 17 ページの一番下

FM805たんば

「議員さんこんにちは!」で
「たんばりんぐ」情報発信中!

議会をもっと身近に



放送日

7月25日(火)
午後8時30分～
※再放送は
7月29日(土)
午後3時30分～

マチを好きになるアプリ



マチイロは、全国800を超える自治体で導入されているスマートフォン用アプリです。広報たんばやたんばりんぐをスマートフォンで見ることができます。

※「マチイロ」の利用料は無料
(通信費は利用者負担)

いつでも
どこでも
たんばりんぐ



たんばりんぐを
スマホへお届け

(注) アプリの運営会社が掲載する広告が表示される場合がありますが、内容に関しては一切責任を負いません。

教えて! 議会ワード

No. 12

「本会議と委員会」 話し合いはどのようにしているの?

議員全員が集まって丹波市のお金の使い方(予算)やルール(条例)などを話し合って決める会議を「本会議」といいます。本会議は、年4回開催される「定例会」と必要な時に開催される「臨時会」があります。

一方、議員それぞれが担当分野に分かれて詳しく専門的に話し合う会議を「委員会」といいます。

委員会には次の3種類があります。

- ①常任委員会(担当部門に関する議案や請願・陳情について話し合う)
②議会運営委員会(本会議をスムーズに進めるためのルールを話し合う)
③特別委員会(必要があるときに設置して丹波市の特定の問題について調べて話し合う)

9月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
					本会議 議案提案 9:30～	
3	4	5	6	7	8	9
		本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 議案質疑 委員会付託 9:30～	
10	11	12	13	14	15	16
		総務文教 常任委員会 9:30～	民生産建 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	常任委員会 予備日	
17	18	19	20	21	22	23
		予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 13:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 13:30～	
24	25	26	27	28	29	30
		予算決算 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～		本会議 議案採決 9:30～	

* 上記の日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。



期間: 令和4年4月～令和5年3月

(単位: 円)

会派名	人数	交付上限額	支出合計	未使用額
公明党	2	240,000	63,600	176,400
須原 弥生 藤原 悟			調査研究・研修費 60,000 ・「高齢化の進展・人口減少に対応した交通まちづくり」 ・「地域公共交通活性化再生法の改正と地域公共交通計画」 (1/10 オンライン研修) ・「交通・観光・まちづくりのコロナからの再生」 ・「CASE / MaaS / DXを活用したこれからの公共交通」 (1/11 オンライン研修)	
日本共産党議員団	2	240,000	205,300	34,700
西脇 秀隆 西本 嘉宏			調査研究・研修費 99,400 ・第64回自治体学校in松本(7/23～7/24 長野県松本市)	
ニュートラル	2	160,000	3,960	156,040
前川 進介 奥村 正行			事業費他 3,960	
■会派解散のため11月末で精算(R4.4～R4.11)				
創生会	4 3	(変更前) 480,000 (変更後) 440,000	108,420	331,580
近藤 憲生 大西ひろ美 山名 隆衛 渡辺 秀幸			調査研究・研修費 108,420 ・養父市高等学校生徒下宿費等補助金について (11/22 兵庫県養父市) ・地方議員研究会in京都(2/10 京都府京都市) ・地方議員研究会in大阪(2/17 大阪府大阪市)	
■渡辺 秀幸議員は R4.11.21付で無会派				
新風クラブ	5	600,000	316,678	283,322
太田喜一郎 足立 嘉正 酒井 浩二 垣内 廣明 太田 一誠			調査研究・研修費 313,378 ・第27回清溪セミナー「住民主体の地方自治を進めるために」 (10/17～10/18 東京都新宿区) ・各省庁の取組について(10/17～10/18 東京都千代田区) ・「閉校跡地活用事業」の取組について (2/9～2/10 鹿児島県薩摩川内市) ・「紙おむつのリサイクル」の取組について (2/9～2/10 鹿児島県志布志市)	
丹新会	4 3	(変更前) 480,000 (変更後) 440,000	440,000 (* 531,381)	0
吉積 毅 谷水 雄一 小橋 昭彦 広田まゆみ			調査研究・研修費 502,581 ・政治費・報酬・定数を考える現場のヒント(5/30 動画視聴) ・第27回清溪セミナー「住民主体の地方自治を進めるために」 (10/17～10/18 東京都新宿区) ・各省庁の取組について(10/17～10/18 東京都千代田区) ・「閉校跡地活用事業」の取組について (2/9～2/10 鹿児島県薩摩川内市) ・「紙おむつのリサイクル」の取組について (2/9～2/10 鹿児島県志布志市)	
■小橋 昭彦議員は R4.11.28付で新会派 結成				
こどもとみらい	1	80,000	9,343	70,657
前川 進介 小橋 昭彦 (R4.12～R5.3)			調査研究・研修費 4,523 ・舞鶴市議会議員研修「議会からの『政策サイクル』の 回し方」(2/9 京都府舞鶴市)	
無会派	1	120,000	0	120,000
小川 庄策	—			
無会派	1	40,000	0	40,000
渡辺 秀幸 (R4.12～R5.3)	—			
無会派	1	40,000	0	40,000
奥村 正行 (R4.12～R5.3)	—			

* 実費負担を伴う総額

政務活動費

1人あたり月額1万円。※
みんな何に使っているのかな?



※ 政務活動費は
令和5年4月から
1人あたり月額
15,000円に変更
となりました。



政務活動費

若い人たちの
遊び場や集まる
ところがないの
では。

バスの時刻表の
文字をもっと
大きくして。

デマンドの乗り
降りがたいへん。
病院までを便利に。



「しんぶん ちぎり絵会」の皆さん
新聞紙を利用した「ちぎり絵」作品を作っています。

引いた草をごみとして
出すのにお金がかかる
のは苦しい。

放棄田が周囲に
増えて自分の
畑にも影響が
ある。



丹波市と 市議会にココを期待しています！

頑張っている
子ども達にもっと
スポットが当たる
場を…



柏原や市島で空手・キックボクシング等を
頑張っている皆さん

丹波市から全国へ！
みんなで頑張っ
ていますので応援し
てほしい。

学校や地域と
繋がっていける
ような支援を
してほしい。

掲載団体募集中！（市内の非営利活動団体に限る）

広報広聴委員会ではこのコーナーに参加いただける団体を募集しています。
ご希望される団体の方は下記までご連絡ください。

※ 個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	「発行責任者」
足立	酒井	小橋	須原	小川	前川	山名	垣内	廣明
嘉正	浩二	昭彦	弥生	庄策	進介	隆衛		

あとがき
たんばりんぐは、議会で議論された審議内容や結果について、その過程と議員の対応を踏まえ、説明責任を果たす紙面づくり・親しみやすい紙面づくり・読者参加型の紙面づくりを基本としています。注目すべき議案などを市民目線で一字一句正確に、わかりやすく伝えるためにはどうすれば良いか、広報広聴委員会で議論を重ね、緊張感をもって編集しております。引き続き、多くの皆さんが議会と市政に関心を持てるよう、努めてまいります。